

## 第25回鈴鹿市文芸賞の受賞作品が決まりました

### ◆一般の部

(敬称略、同賞内順不同)

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
最優秀賞	小説	小川はつこ	ロバを飼う
	エッセイ	織戸典子	国を愛する——タジキスタン訪問記
	アフォーリズム	奥田かなえ	饒舌は人を軽くするが、存在感を与え、思索のダンマリズムは世間から忘れられる。
	詩	原君子	夜汽車
	短歌	村上英明	過ぎない時間
	俳句	松本時代	無花果
	川柳	樋口りゑ	時には主婦のように
優秀賞	小説	野間信樹	消失塹壕
	エッセイ	さわださとる	紀ノ國へ
	アフォーリズム	河合和子	親切は、天秤の重りのようなもの相手の為に積みば積むほど互いの思いのバランスがくずれる。
	詩	しおん	秋桜の海の向こうに
	短歌	西川伸子	法蓮草と共に
	俳句	木村真紀	一瞬の空
	川柳	澁谷さくら	おんがくのある風景

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
奨励賞	小説	大橋隆	源さんと私
	小説	瀬川浩子	7月のどんぐり
	エッセイ	辻善衛	十八歳の復員兵
	アフォーリズム	E. SAITO	的外れな指摘は笑って流せるが的を射た指摘は腹が立つ
	詩	桐山勸	それ
	短歌	舟越幸子	目の前にいる
	短歌	山口千種	コスモス畑
	俳句	戸田保彦	今年米
	俳句	和田芙美	凌霄花
	川柳	高浜広川	林住期
川柳	西山竹里	イチゴパフェ	

### ◆ジュニアの部

(敬称略、同賞内順不同)

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
最優秀賞	作文・童話	杉本滯	夏の妖精大冒険!
	詩	新開月渚	あったかい
	短歌	市川大翔	夏の夜空高くまう花びらをそっとしまふよポケットの中
	俳句・川柳	須藤環	うろこ雲大きな魚泳いでる
優秀賞	作文・童話	須藤環	こんな世界はイヤだ!
	詩	田代愛実	ねこと私達の一年間
	短歌	堤煌成	さつまいもほってもほってもでてこないてぶくろやぶれゆびがでてきた
	俳句・川柳	湯川遥飛	プレゼントたつきゅう便でサンタから
奨励賞	作文・童話	富士田希美	わたしとトラと家族のふしぎな毎日!
	詩	山本美優	おひるね
	短歌	由本真菜	水のつぶポツポツザーザとあじさいにふりそそぐ音合しよう団
	短歌	大嶋陽斗	ともだちとうわぐつあらいしましたよぐちゅぐちゅいっばいでてきましたよ
	短歌	中尾信次	じわじわと足のいたみが強くなるおきょう終わると動けなくなる
	短歌	真弓奏汰	おぼんにねみんなでおはかまいるする大すきはあちゃん見てくれてるね
	短歌	水野雄大	なつのおとふうりんのおとチリンとねかぜがこたえてそこまでゆくよ
	短歌	瀧本愛莉	うち上げた花火はどこまでとんでくの夜空の星にとどいてほしい
	短歌	加藤快	東海道石薬師からしょうのまでかるた50首全部見つけた
	短歌	嶋田光莉	金色にかがやく田んぼゆれているいねかりすぐだ新米間近
短歌	藤井虹花	ぼんおどりほらがいをふくおじいちゃん曲に合わせてボーボーふくよ	

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
奨励賞	短歌	藤森妃菜	まどみるとま夏の空に白つばめグルグルまわるあいさつにきた
	短歌	桑原楓	水曜日週に一度の楽しみだおばあちゃんきてたくさん話す
	短歌	岸本大和	女子の部屋カードゲームでワイワイと好きな人の名みんなで言った
	短歌	中尾海希	水の中兄ちゃんぼくをおんぶしたやっぱり背中やさしかったな
	短歌	浅井奈月	きらきらと光る思い出ぎっしりとつまったプールこれで最後か
	短歌	佐藤奈乃葉	学校のわたりろろう下をわたるたびフワリとかおるきんもくせい
	俳句・川柳	道明宗一郎	あさがおに「おはよう」さきにいえるかな
	俳句・川柳	長島稜	朝起きておふとんさがす足のうら
	俳句・川柳	岡奏汰	流れ星静かな夜をとびまわる
	俳句・川柳	山田權吏	たなばたでねがいをかいてまつだけだ
	俳句・川柳	平田凧砂	夕時の萩のすきまに赤トンボ
	俳句・川柳	三根歩乃佳	ほったにすすきの先っぽあたってた
	俳句・川柳	高井好夏	うちの犬くりがさきってにげだした
	俳句・川柳	小川航平	海にきてどかんとあがる花火見る
	俳句・川柳	笠井亜希子	列になり赤くかがやくヒガンバナ
	俳句・川柳	佐藤大馳	自由だな一人でのったしんかんせん
	俳句・川柳	西飯健太	雷がおちて光が追ってゆく
	俳句・川柳	服部凧沙	汗なみだながしやりぬく組体そう
	俳句・川柳	湯川さくら	秋風が頬をかすめる帰り道